



2016年5月6日

各位

会社名 株式会社ツムラ
代表者名 代表取締役社長 加藤 照和
(コード番号 4540 東証第一部)
問合せ先 コーポレート・コミュニケーション室長 鈴木 登
TEL 03 - 6361 - 7100

中国における合弁会社設立に関するお知らせ

株式会社ツムラ（本社：東京、社長：加藤照和、以下、ツムラ）は、中国における中薬配合顆粒事業に参入するため、2016年5月6日、上海医薬集团股份有限公司（本社：中国上海市、董事長：周杰、以下、上海医薬）の子会社である上海市薬材有限公司（本社：中国上海市、董事長：陳軍力、以下、上海市薬材）と合弁会社設立に関する契約調印に至りましたことを、お知らせいたします。

1. 合弁会社設立の目的

中国における中薬^{※1}については、刻み生薬を煎じて服用することが一般的ですが、近年「中薬配合顆粒^{※2}」を調剤して服用する方法が浸透しつつあります。持ち運びの容易さや服用のしやすさ、保存期間の長さなど、利便性や衛生面から医療機関および患者様のニーズが高まっていることが理由と考えられます。

当社は、1991年に中国における日本の医療用漢方製剤向け原料生薬の調達・加工・保管基地として深圳津村薬業有限公司を設立し、同じく医療用漢方製剤のエキス粉末を生産するため、2001年に上海市薬材との合弁会社である上海津村製薬有限公司を設立しました。

当社は、これまで中国において培ってきた生薬の栽培・加工に伴う研究や技術、品質管理等のノウハウや漢方エキスの製造技術等を中薬配合顆粒事業においていかし、中国および中国国民の健康に貢献していきたいと考えています。また同時に、中国国内の生薬の品質向上や生薬資源保護に寄与しながら、日本国内への生薬のさらなる安定供給につなげていけるものと考え、このたび合弁会社の設立に合意いたしました。

ツムラグループは、「漢方」の価値をさらに高め、漢方製剤の安定供給を通じて、“KAMPO”で人々の健康に寄与する価値創造企業を目指してまいります。

※1 中薬

中医学（中国の伝統医学）で用いる薬剤。

※2 中薬配合顆粒（中薬配方顆粒）

刻み生薬を単味にて抽出し、分離、濃縮、乾燥、混合、造粒などの工程を経て製品化し、刻み生薬と同様に中薬の調剤に用いる。日本では「単味生薬のエキス製剤」「単味生薬エキス顆粒」「単味生薬製剤」などの呼称がある。

2. 合併会社の概要

公司名称：上海上薬津村製薬有限公司

所在地：上海市

代表者：董事長（5月中に決定の予定）

資本金：600百万RMB

出資比率：上海市薬材 51% ツムラ 49%

事業内容：中薬配合顆粒製造販売、中薬配合顆粒の基準制定、製品の研究開発、製造方法の研究開発、その他

3. 合併相手

公司名称：上海市薬材有限公司

所在地：上海市

代表者：董事長・総経理 陳軍力

資本金：648百万RMB

親会社：上海医薬集团股份有限公司

所在地：上海市

代表者：董事長 周杰

資本金：2,688百万RMB

業績：2015年売上高1,055億RMB、純利益28億RMB

主要株主：上海実業（集団）有限公司、上海上実（集団）有限公司、
上海医薬（集団）有限公司

上場先：上海証券取引所・香港証券取引所

4. 業績に与える影響

本合併会社設立による2017年3月期の当社連結業績に与える影響は軽微であります。

以上